

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

Table with 2 columns: School Information (中学校区におけるめざす子ども像, 堺市立 三原台小学校) and Objectives (令和7年度 重点目標, 教職員に示す目標).

「確かな学び」の現状
これまで併版授業スタンダードの定着をめざし授業改善に取り組んできた。児童同士の交流や発表の場が授業時にはよく見られるようになってきている。今年度は「学びのコンパス」が提示され、より主体的に学習に取り組める児童の育成をめざす。また学校群として、9年間を見据えた「特別支援教育の視点に立った誰一人取り残さない教育」に取り組んでいく。全校的には、基礎基本の学習を繰り返し行うことや家庭学習・自主学習の定着に重点を置き、タブレット端末の授業時の活用についても前年度より時間を増やし、授業の中で、ICTをより効果的に使用してGIGAスクール構想の推進をさらに進めていく。

「豊かな心・健やかな体」の現状
本校において、集団生活になじめない児童の増加や体力低下がまだ課題である。現在、個別の支援をおこなっていくことが必要な状況は多くあるため、今年度も学校群をベースに、また、外部機関とも連携し、特別支援教育に立った個別最適な学びの実現をめざし取り組んでいく。また協働的な学びを通して、子どもたちの「自己肯定感」「思いやりの心」を育てていきたい。大きな課題である体力低下の面については、全校あけて体力アップの取組をすすめたい。学校協議員会でのご意見をもとに対策をとったり、授業時の体力づくりの準備運動を全校で共有したり、日常生活や家庭でできる体力向上の取組などを推進し、さらなる全学年児童の体力向上をめざす。

Main evaluation table with columns: 中項目, 具体目標, 具体的な取組, 判断基準, 評価方法, 評価時期, 進捗確認, 達成状況 (自己評価, 学校関係者評価).

校長より(年度末)
本年度、重点をおいた取り組みとして、
●日本語力の育成や読解力の向上のため、「書くこと」や「他者との交流」(ICT交流)を大切にしたい問題解決型学習の研究を進め、基礎、基本を定着させるとともに、思考力の育成を図った。また、加えて、児童が主体的に探究学習を進める「学びのコンパス」を意識した授業研究を行った。児童が思考力向上に不可欠な要素「読解力」「書くこと」や「他者との交流」(ICT交流)により、他の人の異なる考え方や見方を知ることで、外的刺激を受け、さらに考えてみようとする意欲につながり、語彙力や「書く」量・質ともに向上が見られ、交流においても積極的にに行い、児童の自己肯定感を育めることに寄与した。今後も継続していく。
●自分も他者も大切にしたい人権教育と道徳教育を推進し、いじめの未然防止等に努めながら、子ども一人ひとりが人権感覚や道徳心を身につけるために、「どの子にもわかりやすい授業」を実践し、結果、子ども間のトラブル等において、質的・量的ともに、前年度に比べ良化した。今後においても、人権感覚を育成する取り組みを継続する。
●基礎的環境整備を徹底することにより、子どもたちの落ちつきを確保するとともに、誰もがわかりやすい授業実践を行った。教育環境の整備はもとより、各教科にて、ICTを効果的に活用し、より良い授業環境づくりをめざした。結果、整理整頓がされた教室、授業環境が整った学習環境が構築され、意欲をもって取り組む児童の姿が多数見られた。今後も維持・徹底をしていく。

学校関係者評価者から(年度末)
・子どもたちは先生が大好きです。ととても大切な時間を過ごしているので、大変でしょうかよろしくお願ひします。遊び時間も先生も楽しんでください。
・全体の取り組みに対して意識は向上しているように見える。進捗率に左右されることがなく徹底を図っていきければ目標に近づいていける。子どもたちと前向きに継続してほしい。校区としても協力していきたい。
・本年度の教育活動は、学校目標の実現に向けて計画的に取り組まれており、全体として概ね良好である。学力向上や豊かな心の育成、安全安心な環境づくりなど、バランスの取れた教育活動が推進されている点が評価できる。今後も学校・家庭・地域が連携し、さらなる充実と発展を期待する。
・進捗確認評価のCがすべて0%になっているのはすばらしい。全般に先生方の指導力の高さを評価したい。